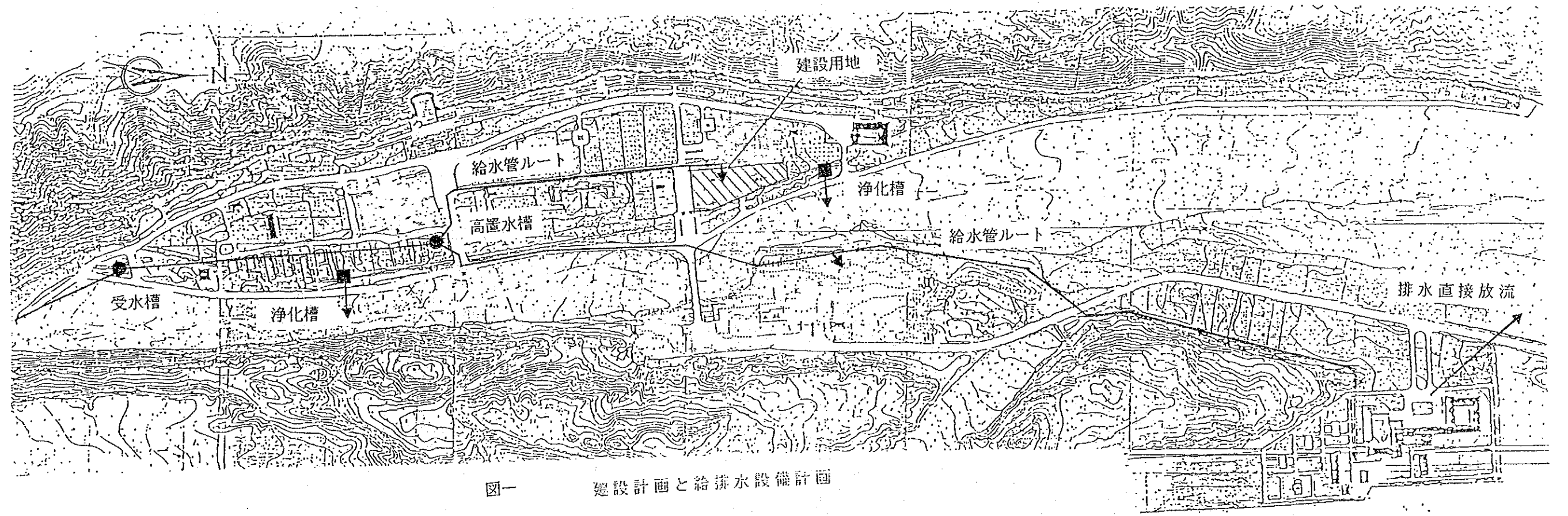


図一 現状の給排水設備



図一 建設計画と給排水設備計画

敦煌莫高窟保护研究陈列中心
新选址场地工程地质勘察报告

水文地质

甘肃省地质矿产局第三队

工程地质

一九九〇年七月

队 长 李 浩

总工程师 付召现

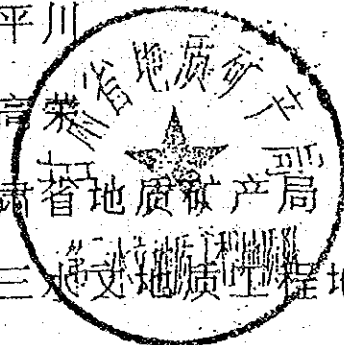
编 写 张平川

审 核 廖高荣

提交单位 甘肃省地质矿产局

第三地质队工程地质队

提交时间：一九九〇年七月



文 字 目 录

- 一. 绪言.
- 二. 場地岩土条件.
- 三. 岩土工程地质评价.
- 四. 结果及建议.

附 图 目 录

- 图 1: 探井平面布置图.
- 图 2: 探井综合地质柱状图.
- 图 3: 1-1' 工程地质剖面图.

一. 绪 言:

敦煌研究院于1990年6月委托我队为其拟建的“敦煌莫高窟保护研究陈列中心”新选地址进行场地工程地质勘察。

本次勘察旨在查明:拟建场地地层结构;岩土的物理力学性质;场地土类别;地基土的容许承载力等,为设计提供工程地质依据。

依据国家建设部颁发的《工业与民用建筑地基基础设计规范TJ7-74》,在场地上按50米间距布置勘探点,布置探井8个,探井布置见附图1。

建筑物大小及结构类型不详。

二. 场地岩土条件.

1. 地理位置、地貌及地形特征:

新选场地于敦煌莫高窟招待所对面,西水沟河Ⅱ级阶地上,东西两侧为陡坎及陡坡.井口高程为1334.0米-1340.5米,高差为6.5米.东北角最低,东南角最高.场地内基本为缓坡,无大型起伏。

2. 岩土组成及特征:

本场地地层主要为Q4洪积含土角砾及Q2洪积形成的角砾岩.据探井揭露及陡坎剖面观察场地土可分为以下三层

(1) . 含土角砾：土黄色，角砾多呈棱角状及次棱角状，最大粒径80毫米，一般5—20毫米，含量60—70%，砂土充填，松散堆积。此层中夹有10公分左右的含砾粉砂及极薄的盐壳。本层厚度0.10米—0.60米，覆盖于场地表层。

(2) . 强风化角砾岩：灰褐色，骨架颗粒主要由火成岩及灰岩组成，砾石最大粒径100毫米，一般2—50毫米，多呈棱角状，含砾量大于80%，砂类土充填，基本无胶结，松散堆积，用镐即可开挖。本层厚度0.00—0.30米，层底深度1333.7米—1339.9米。

(3) . 弱风化角砾岩：青灰色，为 Q_2 洪积形成，角砾含量在60%以上，岩石性质与上层相似，泥质半胶结为主，钙胶结次之，呈孔隙状胶结，胶结成度随^同层次差别很大，干时坚硬，湿而变软。基本上为一套泥^质半胶结砾岩与钙质胶结砂岩呈互层出现。此层用镐开挖很困难。层面埋藏深度为0.3米—0.8米，标高1333.7米—1339.9米，未见底。

3. 地震效应

据国家地震资料，敦煌莫高窟地处地震基本烈度为6度

区。

按照我国《工业与民用建筑设计规范TJ11-78》的规定，本场地土为Ⅰ-Ⅱ类场地土。

4. 水文地质

根据我队八七年和八五年区域水文地质资料，本区地下水埋藏很深，对建筑物场地无地下水浸蚀影响。场地东侧冲沟汇水面积少于50平方公里，该区年降水量少于200毫米，亦构不成对场地冲积剥蚀的威胁。

三、岩土工程地质评价

1. 岩土质量评价

本场地主要地基土为③弱风化角砾岩。据《TJ-74》规范岩石类别划分，此层为软质岩。通过化验分析及我队八九年的资料，就岩石质量指数，岩体质量系数和岩体质量指标三方面分析：

①. 含土角砾：为 Q_4 洪积物，分布在地表，厚度小，松散堆积，工程性能较差。

②. 强风化角砾岩：为 Q_4 洪积形成，岩体原有结构已被破坏，只保持原岩形状，而无胶结力，岩体质量一般为坏的或较坏的，工程性能一般。

③. 弱风化角砾岩：泥钙质半胶结，软硬不均成互

层状，厚度大，整体强度大，岩体质量标准中等，工程地质性能较好。

2. 地基土承载力

根据国家制定工业与民用建筑地基设计规范，软质岩石类土允许承载力可知：

②. 强风化角砾岩 $[R] = 30 - 50 (T/M^2)$

③. 弱风化角砾岩 $[R] = 80 - 100 (T/M^2)$

四. 结论及建议

1. 结论

(1). 拟建场地主要由含土角砾，强风化及弱风化角砾岩组成。地貌单元属西水沟河II级阶地，场地稳定性较好。

(2). 场地地基土除表层含土角砾外，均为I—II类场地土。

(3). 场地地下水对建筑物无影响。

(4). 敦煌地震烈度为6度区。

(5). 敦煌冻土深度为1.27米。

2. 建议

(1) 场地上部含土角砾属松散堆积，厚度小，强风化角砾岩虽可破利用，但厚度太小，埋深浅，利用意义不大，

此两层在施工中即被剥除掉。弱风化角砾岩由泥质半胶结角砾岩夹薄层钙质胶结砂岩组成，均一性差，浸水易软化，暴露地表风化速度快，因此建议此层承载力按30吨/米²采用。

(2) . 其它内容可参考一九八九年六月我队提交的《敦煌莫高窟保护研究陈列中心工程地质勘察报告》。

探井平面布置图

比例尺 1:1000

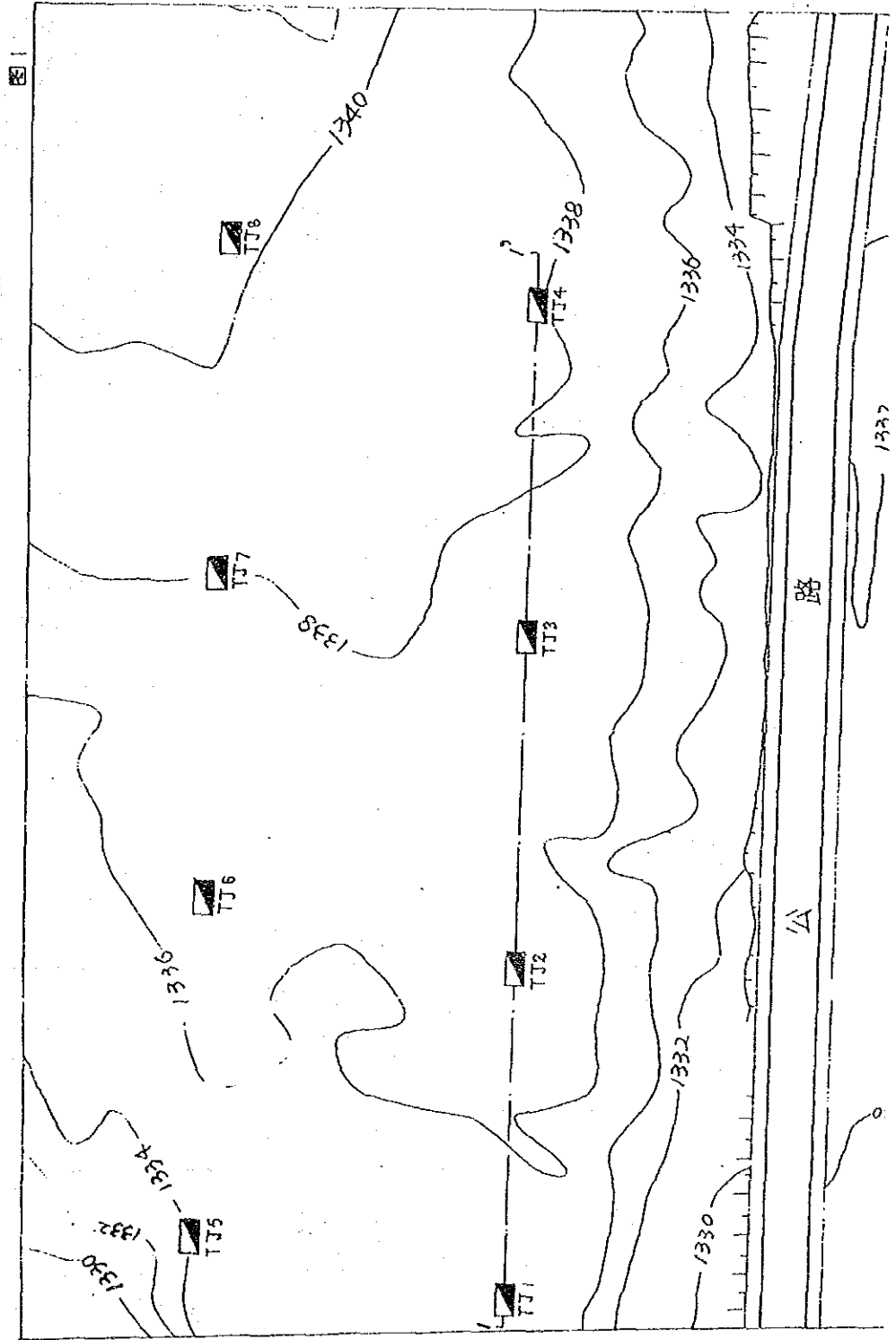


图 1

图例

探井及编号

剖面线

探井综合地质柱状图

工程名称：敦煌莫高窟保护研究陈列中心

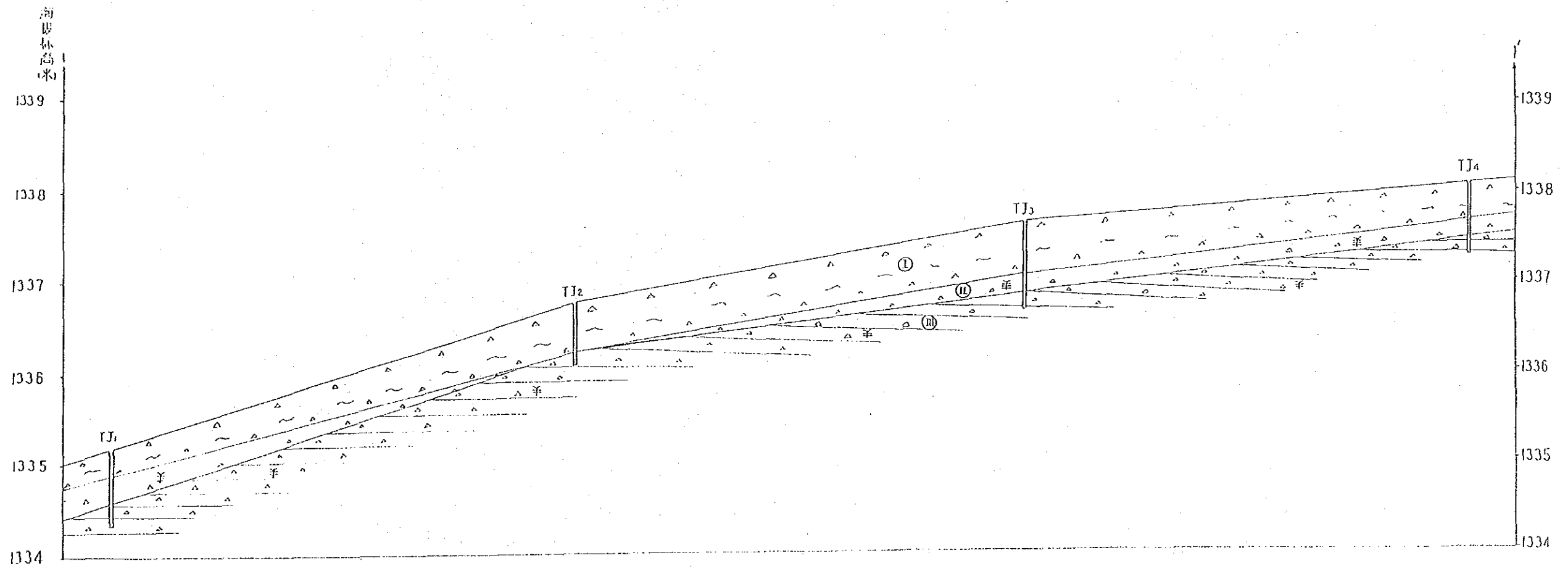
图2

地层编号	地层时代成因	地层厚度(米)			层底深度(米)			柱状图	地质描述	分布范围
		最大	最小	平均	最大	最小	平均			
①	Q ₄ ^{pl}	0.60	0.10	0.37	0.60	0.10	0.37	~ ~ ~	含角砾：土黄色，角砾以火成岩及灰岩组成，呈棱角状，含量60~70%，夹薄层粉砂。	覆盖地表
②	Q ₂ ^{pl}	0.30	0.00	0.19	0.80	0.30	0.55	~ ~ ~	强风化角砾岩，褐色，骨架颗粒由火成岩及灰岩组成，呈棱角状，砂类土充填，基本无胶结。	局部缺失
③								~ ~ ~		

—— I' 工程地质剖面图

比例尺 1:500

图3



- 图例
- 探井及编号
 - 含土角砾
 - 强风化角砾岩
 - 弱风化角砾岩
 - 地层编号

基本設計調査
日程表
面接者リスト
調査団員名簿

日 程 表
面接者リスト
調査団員名簿

1. 基本設計調査(フェーズI)調査日程表

日順	月 日	平山団長、室屋団員	宿泊地	斎藤副団長、金塚、中井、花園、伊藤、島田	宿泊地	芦原先生	宿泊地	コンサルタント団員	宿泊地	調査内容
1	3/ 27 月			9:30 東京→北京 JL781 13:10 (金塚、中井、花園)	北京			9:30 東京→北京 JL781 13:10 (渡辺、石原、松本)	北京	JICA北京事務所と日程打合せ、 フライトコンファーム
2	28 火			10:00 東京→北京 JL781 13:40 (斎藤、伊藤、島田)	北京			10:00 東京→北京 JL781 13:40 (本多、長浜)	北京	旅程打合せ、旅行準備 経貿部を表敬
3	29 水	10:00 東京→北京 JL781 13:40	北京	13:20 北京→ウルムチ CA9102 17:15	ウルムチ			13:20 北京→ウルムチ CA9102 17:15	ウルムチ	移動
4	30 木		北京	ウルムチ停滞	ウルムチ	10:00→北京 NH902 14:40	北京	ウルムチ停滞	ウルムチ	団内打合せ
5	31 金	13:20 北京→ウルムチ CA9102 17:15	ウルムチ	ウルムチ→敦煌(列車)	敦煌	13:20 北京→ウルムチ CA9102 17:15	ウルムチ	ウルムチ→敦煌 (松本ウルムチ滞留)	敦煌	移動
6	4/ 1 土	ウルムチ→敦煌	敦煌		敦煌	ウルムチ→敦煌	敦煌	ウルムチ→敦煌 (松本)	敦煌	敦煌研究院と協議(要請内容の確認、負担区分について)、団内打合せ
7	2 日		敦煌		敦煌		敦煌		敦煌	敦煌研究院と協議(ミニッツの協議、人材交流) 敷地調査、団内打合せ
8	3 月		敦煌		敦煌		敦煌		敦煌	敦煌研究院と協議(協議議事録作成)、設計構想協議 協議議事録署名
9	4 火	10:30 敦煌→蘭州 13:00	蘭州	10:30 敦煌→蘭州 13:00		10:30 敦煌→蘭州 13:00		10:30 敦煌→蘭州 13:00 (渡辺) 10:00 東京→北京 JL781 13:40 (富田、馬場)	敦煌 蘭州 北京	敦煌研究院にて敷地調査、復元模型展示予定窟調査 機材の現状調査、既存研究院の設備現状調査
10	5 水	蘭州→北京	北京		蘭州		蘭州	北京→蘭州 CA1205 (富田、馬場)	敦煌 蘭州	甘肅省経貿委員会、文化庁、西北設計院訪問 敦煌研究院と協議 模型、その他展示物の調査及び既存収蔵庫の調査 機械設備の内容について協議
11	6 木	北京→東京		蘭州→北京	北京	蘭州→北京	北京		敦煌 蘭州	西北設計にて建設事情価格について調査 敦煌研究院にて自然条件、敷地条件、参観者現状調査 機材、設備計画内容協議
12	7 金			北京→東京 (斎藤、金塚、花園、伊藤、 島田)	北京 (中井)	北京→東京		蘭州 → 敦煌 (渡辺、富田、馬場) 敦煌→蘭州 (乳井)	敦煌 蘭州	敦煌研究院にて既存保存研究所と展示資料現状調査 既存研究院建設時の建設事情調査 機材協議のまとめ 団内打合せ
13	8 土			北京→東京 (中井)					敦煌 蘭州 (乳井)	敦煌研究院にて組織、人員、研究内容の調査 敷地回り水源調査、第9工程会社と建設事情について 調査 蘭州大学化学・物理研究所にて敦煌に関する研究内 容、施設内容調査

日順	月 日	平山団長、室屋団員	宿泊地	斎藤副団長、金塚、中井、花園、伊藤、島田	宿泊地	芦原先生	宿泊地	コンサルタント団員	宿泊地	調査内容
14	9 日								敦煌 蘭州 (乳井)	西千仏洞調査
15	10 月							蘭州→北京→東京 (乳井)		敦煌研究院の組織と現存機材の調査 建家計画構想について協議*先方の考え方の聴取) 大泉水源調査、団内打合せ
16	11 火								敦煌	建家計画構想について協議 暖房計画、電気引き込み経路について協議
17	12 水							16:00 敦煌→蘭州 17:30	蘭州	建築、水、設備について協議のまとめ
18	13 木								蘭州	在蘭州敦煌研究院について建設現場にて調査 第7工程公司にて建設事情、建設コスト調査 市内建設現場調査
19	14 金								蘭州	西北設計院にて建築、設備、コストについて事情調査
20	15 土								蘭州	建設資材の市場調査 西北設計院にて打合せ継続 西北設計院にて設計協力について協議
21	16 日								蘭州	資料整理、団内打合せ甘肅省文物局表敬
22	17 月							蘭州→北京 (富田、馬場) 北京→東京 (富田)	蘭州 北京 (馬場)	建設資材の市場調査 P.C.工場見学 内装工事の事情調査 敦煌研究院にて今までの調査内容のまとめ報告
23	18 火							蘭州→北京 (渡辺) 北京→東京 (馬場)	蘭州 北京 (渡辺)	西北設計院にて建築、ソーラーエネルギー利用建設資材について調査 内装工事の事情調査
24	19 水							蘭州→北京 (石原、本多、長浜、松本)	北京	天津にて輸送経路費用について調査
25	20 木								北京	JICA事務所に報告 日中青年交流センターCWTC現場にて建設事情調査
26	21 金								北京	大使館にて報告 国家文物局に表敬 資料購入
27	22 土							北京→東京 (本多、長浜)	北京	熊谷組にて建設事情調査 少数民族資料館にて類似施設調査
28	23 日							北京→東京 (渡辺、石原、松本)		

2. 基本設計調査(フェーズI)面接者リスト

国家文物局

童 正洪	秘書長
宋 北杉	外事処処長

国家对外經濟貿易部

王 天策	国際連絡局局長
金 湘田	国際連絡局六処副処長
楊 鉄林	国際連絡局員

甘肅省

閻 海曜	副省長
董 長河	文化庁副庁長
張 正傑	文化庁副庁長
鐘 聖祖	文化庁文物処長
喬 楠	文化庁文物処副処長
陶 新民	文化庁計財処項目官員
王 斌	對外經濟貿易委員會副主任
曾 明沂	對外經濟貿易委員會外經処項目官員
楊 国財	對外經濟貿易委員會外經処
祁 世軍	對外經濟貿易委員會項目官員
帳 世恩	對外經濟貿易委員會引進処
楊 文健	經濟委員會社会事業処処長
劉 德考	科学技術委員會外事処処長
李 新	科学技術委員會工程師
宋 春華	建設委员会主任

董 学奎 建設委員会副主任

康 鴻伍 建築勘察設計院 副院長

敦煌研究院

段 文杰 院長

樊 錦詩 副院長

趙 友賢 副院長

閔 友惠 美術研究所長

孫 儒們 保護研究所長

李 最雄 保護研究所副所長

陶 銳 弁公室副主任

劉 永增 資料センター次長

西北設計院

賈 万新 院長 高級工程師

劉 文林 副院長 高級工程師

鄧 惠英 副院長 高級工程師

鄧 延復 副總工程師 高級工程師、敦煌研究院 高級工程師

吳 其圭 建築計画所 所長

孟 暖玲 經濟所 副所長

帳 尚義 企画室福主任 高級計画師

渠 箴亮 高級建築師

孫 繼中 高級計画師

裘 本昌 高級工程師

紹 泰安 高級工程師 (構造)

徐 世瑛 高級工程師 (電気)

郭 延虎 高級工程師 (給排水衛生)

温 殿魁 高級工程師 (暖房)

宋 賽 工程師
秦 玉芸 工程師 (給排水衛生)
孫 椿年 工程師 (機械)

第七建築工程公司

王 揚善 經理
嚴 裕康 副經理
蘇 紹顯 總工程師
韓 文宗 生產科長 工程師
周 永半 建設担当員

第九建築工程公司

燕 采泉 副經理
馮 福康 第四工程主任
王 如郭 第四工程隊付主任

裝飾設計公司

雷 宋 工藝美術師

裝飾工程公司

徐 友山 經理
馬 天德 工程部

蘭州市

任 震英 市人民政府顧問 總建築師

蘭州物資貿易中心 蘭州生產資料服務公司

寶 兆福 副經理

中国对外贸易运输总公司

張 文軍 天津分公司海運部 經理

Getty Conservation Institute

Neville H. Agnew Deputy Program Director, Scientific Research

John Perkins Project Coordinator, Documentation Program

Roland Tseng Managing Project Consultant

在中国日本大使館

久保田 穰 公使

太田和良幸 一等書記官

岡田 真樹 一等書記官

田尻 和宏 二等書記官

国際協力事業団 北京事務所

田口 定則 所長

小松 征司 次長

松谷 広志 次長

神谷 克彦 所員

3. 敦煌石窟文化財保存・展示センター建設計画基本設計調査(フェーズI) 団員名簿

団長	平山 郁夫	東京芸術大学美術学部長教授
副団長	齋藤 泰雄	外務省経済協力局無償資金協力課長
人的交流計画	室屋 晃	東京芸術大学事務局長
文化財保護	金塚 勇	文化庁文化財保護部伝統文化課普及助成室長
計画管理	中井 信也	国際協力事業団無償資金協力調査部 基本設計調査第二課長
通訳	花崗 遜	国際協力サービスセンター
建築計画	渡辺 衡夫	日建設計
展示計画	石原 堅次	日建設計
建築設計	本多 美恵	日建設計
設備計画	長浜 浩明	日建設計
給水計画	富田 秀雄	日建設計
機材計画	乳井 勇	日建設計
積算	馬場 正三	日建設計
通訳	松本 茂世	日建設計
外務省委嘱 アドバイザー	芦原 義信	建築家
オブザーバー 同	伊藤 信雄 島田 和彦	文化財保護振興財団理事 文化財保護振興財団事務局次長兼事業部長

4. 基本設計調査(フェーズ II) 調査日程表

日順	月 日	平山団長、横井副団長 小島参事官、安藤、佐藤、花崗	宿泊地	町田、磯部	宿泊地	コンサルタント団員				宿泊地	調査内容
						渡辺、石原、田中、長浜、島村	浜田	鈴木	山村		
1	5月 22日 火			10:00 東京 → 北京 JL781 14:15	北 京	10:00 東京 → 北京 JL781 14:15				北 京	JICA北京事務所にてスケジュール打合せ
2	23日 水				北 京					北 京	日中青少年交流センター視察 対外経済貿易部表敬、説明 国家文物局表敬、説明
3	24日 木			11:35 北京 → 蘭州 CA2112 13:45	蘭 州	11:35 北京 → 蘭州 CA2112 13:45				蘭 州	甘肅省経貿委、文物局、敦煌研究院、西 北設計院と協議説明、第7工程会社に調査 依頼
4	25日 金			08:05 蘭州 → 敦煌 CA2203 12:00	敦 煌	08:05 蘭州 → 敦煌 CA2203 12:00		10:00 東京 → 北京 JL781 14:15		敦 煌 北 京	インセプション・レポート、インテリム・レ ポート説明 スケジュール協議 敷地調査、研究院招宴
5	26日 土				敦 煌		10:00 東京 → 北京 NH905 14:15			敦 煌 北 京	インテリム・レポート協議 敷地調査 団内打合せ
6	27日 日				敦 煌		11:35 北京 → 蘭州 CA2112 13:45	蘭州発 69列車		敦 煌 (車中)	敷地周辺調査 団内打合せ
7	28日 月	10:00 東京 → 北京 JL781 14:15	北 京		敦 煌	柳園着、車で敦煌着			10:00 東京 → 北京 JL781 14:15	敦 煌 北 京	団長 大使館、国家文物局訪問 敷地に関する協議、敷地調査 建築、展示、研究の各分科会協議、団内打合
8	29日 火	11:35 北京 → 蘭州 CA2112 13:45	蘭 州		敦 煌				11:35 北京 → 蘭州 CA2112 13:45	敦 煌 蘭 州	分科会協議 団内打合せ
9	30日 水	08:05 蘭州 → 敦煌 CA2203 12:00	敦 煌		敦 煌				08:05 蘭州 → 敦煌 CA2203 12:00	敦 煌	全体会議 分科会協議 敷地調査、研究院招宴
10	31日 木		敦 煌		敦 煌					敦 煌	全体会議 分科会協議 団内打合せ
11	6月 1日 金		敦 煌		敦 煌					敦 煌	全体会議 分科会協議 ミニッツ協議、作成
12	2日 土		敦 煌		敦 煌					敦 煌	ミニッツ協議、翻訳 ミニッツ調印 答礼宴
13	3日 日	12:30 敦煌 → 蘭州 CA2204 16:30	蘭 州	12:00 敦煌 → 蘭州 CA2204 16:30	蘭 州		12:30 敦煌 → 蘭州 CA2204 16:30			敦 煌 蘭 州	団長 甘肅省省長招宴に出席 団内打合せ、資料整理
14	4日 月	08:10 蘭州 → 北京 CA2113 10:00	北 京	08:10 蘭州 → 北京 CA2113 10:00	北 京		08:10 蘭州 → 北京 CA2113 10:00			敦 煌 北 京	団長 JICA北京事務所、大使館報告 全体会議、分科会協議 技術協議議事録協議
15	5日 火	16:00 北京 → 東京 JL782 20:00		16:00 北京 → 東京 JL782 20:00			16:00 北京 → 東京 JL782 20:00			敦 煌	団長 国家経貿部、国家文物部訪問 全体会議、分科会協議、既存研究院施設調査 技術協議議事録調印

日順	月 日	平山団長、横井副団長 小島参事官、安藤、佐藤、花崗	宿泊地	町田、磯部	宿泊地	コンサルタント団員				宿泊地	調査内容
						渡辺、石原、田中、長浜、島村	浜田	鈴木	山村		
16	6日水					12:00 敦煌 → 蘭州 CA2204 16:30				蘭 州	身辺整理
17	7日木									蘭 州	西北設計院と設計協力建設事情について協議、第7工程公司にて建設コスト、建設事情について調査、甘肅省博物館調査
18	8日金									蘭 州	甘肅省経貿委、文物局表敬、蘭州大学研究室調査、第7工程公司コスト、建設材料調査、甘肅省博物館及び展示具製作工場調査
19	9日土									蘭 州	蘭州、敦煌研究院現場視察、砂漠研究所調査、第7工程公司コスト調査、展示具製作工場調査
20	10日日					08:25 蘭州 → 北京 CA2113 10:15				北 京	資料整理
21	11日月					16:10 北京 → 東京 NH906 20:05					JICA北京事務所、日本大使館に報告 展示具に関して故宮博物館及び製作工場調査、CWTC現場視察

5. 基本設計調査(フェーズII)面接者リスト

中央官庁

国家対外経済貿易部

王 天策	国際連絡司司長
金 湘田	国際連絡司第六処副処長
楊 鉄林	国際連絡司員

国家文物局

童 正洪	秘書長
宋 北杉	外事処処長
楊 烈	教授 高級工程師
李 季	文物処副処長
徐 明	文保所主任
李 向前	幹部

甘肅省

対外経済貿易委員会

王 斌	副主任
李 桂	代理主任
曾 明沂	外経処処長
楊 国財	外経処員

文化庁

馬 文治	副庁長
鐘 聖祖	文物処処長

科学技術委員会

劉 鈞	副主任
劉 德考	外事處處長

外事弁公室

程 有清	副主任
------	-----

甘肅省博物館

吳 怡如	副館長
薛 俊彦	副館長
張 朋川	歷史部主任研究館員
徐 祖蕃	副研究館員(技術部)
龍 緒理	副研究館員
楊 永清	技術顧問

敦煌研究院

段 文杰	院長
樊 錦詩	副院長
趙 友賢	副院長
關 友惠	美術研究所所長
孫 儒們	保護研究所所長
李 雲鶴	保護研究所副所長
孟 繁新	人事處處長
陶 銳	弁公室副主任
劉 永增	資料センター副主任
馬 競爭	研究所所員
鄭 世賢	北京駐在員
朱 宏江	通訳
賀 小萍	通訳
李 萍	通訳

市政工程西北設計院

賈 万新	院長
劉 文林	副院長
鄧 惠英	副院長
鄧 延復	副總工程師
邵 泰安	高級工程師
秦 玉芸	工程師

中国科学院蘭州沙漠研究所

朱 震達	所長
------	----

蘭州市電視教育中心

易 紹武	副主任
------	-----

第七工程公司

王 楊善	經理
嚴 裕康	副經理
陳 立華	副經理
韓 文宗	生產科長 工程師

航空航天工業部二三九廠五分廠

秦 永超	分廠廠長
------	------

在中國日本大使館

小島 高明	參事官
田尻 和宏	二等書記官

國際協力事業團 北京事務所

佐藤 保男	次長
松谷 広志	次長

6. 基本設計調査(フェーズII)団員名簿

団長	平山 郁夫	東京芸術大学 学長
副団長	横井 裕	外務省経済協力局無償資金協力課 首席事務官
文化財保護	安藤 忠雄	東京芸術大学美術学部 事務長
計画管理	町田 哲	国際協力事業団無償資金協力調査部 基本設計調査第二課 課長代理
無償資金協力	磯部 正	外務省経済協力局無償資金協力課 課長補佐
通訳	花園 遜	国際協力サービスセンター
建築計画	渡辺 衛夫	日建設計
展示計画	石原 堅次	同上
建築設計	浜田 明彦	同上
構造計画	田中 義久	同上
建築設計		同上
設備計画	長浜 浩明	同上
機材計画	鈴木 詔行	同上
積算	山村 俊之	同上
通訳	島村 実	同上

7. ドラフト報告書説明現地調査日程表

日順	月日	齋藤団長、花崗	城所	町田、鈴木、渡辺 石原、浜田、島村	調査内容
1	9月28日(金)			東京→上海 CA986 14:40 16:35	
2	29日(土)			上海	上海に於いて建設資機材調査
3	30日(日)	東京→上海 MU924 13:50 15:50		上海→蘭州 CA2512 10:10 13:00	対外経済貿易委員会招宴
4	10月1日(月)	上海	東京→上海 MU924 13:50 15:50	蘭州→敦煌 CA2203 13:30 16:30	
5	2日(火)	上海→西安 CA201 08:10 10:20	同 左		ドラフト・ファイナル・レポート提出・説明、基本設計協議
6	3日(水)	西安→蘭州 22:00 24:00	同 左		基本設計説明・協議
7	4日(木)	蘭州→敦煌 CA2203 07:25 10:30	同 左		基本設計説明・協議、全体会議、敦煌研究院招宴
8	5日(金)				ミニッツ協議
9	6日(土)				ミニッツ翻訳、ミニッツ調印
10	7日(日)	敦煌→蘭州 CA2204 10:45 14:40	同 左	同 左	甘肅省長招宴
11	8日(月)	蘭州→北京 CA2117 07:40 09:55	同 左	同 左	大使館、JICA 報告
12	9日(火)	北京→東京 JL782 16:00 19:50	同 左	同 左	国家対外経済貿易部表敬

8. ドラフト報告書説明現地調査面接者リスト

国家対外経済貿易部

楊 鉄 林	国際連絡司	主任科員
張 悦 光	同 上	項目官員

甘肅省

李 萍	副省長
董 長 河	文化庁副庁長
王 斌	対外経済貿易委員会副主任
曾 明 沂	同 上 外経処長
高 西 民	同 上 外経処項目官員
劉 鈞	科学技術委員会 副主任

敦煌研究院

段 文 杰	院 長
趙 友 賢	副院長
閔 友 惠	美術研究所長
孫 儒 們	保護研究所長
李 雲 鶴	保護研究副所長
陶 銳	弁公室副主任
劉 永 增	資料センター副主任

市政工程西北設計院

賈 万 新	院長
鄧 延 復	副総工程師

在中国日本大使館

遠 山 茂	二等書記官
-------	-------

在上海日本国総領事館

金 沢 良 弘	領 事
井 上 一 郎	副領事

国際協力事業団 北京事務所

三 浦 敏 一	所 長
松 谷 広 志	次 長
神 谷 克 彦	所 員

9. ドラフト報告書説明現地調査団員名簿

団 長	齋 藤 泰 雄	外務省経済協力局無償資金協力課長
無償資金協力	城 所 卓 雄	外務省経済協力局無償資金協力課課長補佐
人的交流	鈴 木 文 子	文部省教育文化交流室専門職員
計画管理	町 田 哲	国際協力事業団無償資金協力調査部 基本設計調査第二課課長代理
通 訳	花 園 遜	国際協力サービスセンター
建築計画	渡 辺 衡 夫	日建設計
展示計画	石 原 堅 次	同 上
建築設計	浜 田 明 彦	同 上
通 訳	島 村 実	同 上

JICA